

発行所 日中交流情報センター

〒400-0081

山梨県甲府市丸の内2-30-5

甲府電化ビル 3F Tel(Fax) 055-223-3134

E-mail: jpch-zhongxin@peace.ocn.ne.jp.



## 【インタビュー】

今回は香港からの留学生凌睿昌さんにお話を伺います。

Q: まず、簡単な自己紹介などお願いします。

A: こんにちは。凌睿昌です。香港人です。25歳です。三か月前に日本に来ました。現在はユニタス日本語学校に在籍しています。

実は日本への留学は、初めてではありません。短期留学も、ホームステイも経験しています。子供のころ、日本へは旅行で、6~7回くらい来ています。6年生の時には、6泊7日のツアーに参加して家族、従兄弟たちと北海道に行きました。その時は子供ですから、日本に対して、そんなに強い興味は持ってはいなかったのですが、きれいな国だなあと印象に残っています。

Q: 日本語はいつから学び始めたのですか。

A: 中学生の時、N2（日本語能力試験2級）を持っていた友達の影響で日本語に興味を持つようになりました。その時は日本語の音の響きをとても美しく感じました。友達が紹介してくれた、アニメの「ドラゴンボール」にハマって、その中で使われている言葉を一生懸命覚えました。ところが、友達の日本人の彼女から「凌君の日本語はちょっとおかしいよ。」と言われてしまい、その後、より熱心に勉強をやるようになりました。高校から「高級文憑」(Higher Diploma)（日本の高専に近い）へ進学しました。専攻は「日本研究」です。3年間学び、大学三年生に編入。専攻は「言語とコミュニケーション」です。この時期、中国の標準語も2年間学びました。

Q: その後、香港で就職されたのですね。

A: 日本のIT関連企業に就職しました。レストランや会社の会計システム修正をする会社で、顧客からのクレーム対応やその他アフターサービスを行っていました。1年で辞め、今回また日本語のレベルアップを目指して、日本へ留学に来ました。

Q: ユニタスを選んだのはなぜですか。

A: 2年前、大学を卒業する前に、夏休みを利用してユニタスへ短期留学をしたのです。山梨県の人たちにとっても親しみを持ちました。都会にはない、温かみ、人情を感じます。東京の人、特に都心にいる人はもっとクールですね。それが理由の一つです。その時も今住んでいるユニタスの宿舎となっているアパートでした。

Q: 逆に都会に留学しなかったことで後悔したことはありますか。

A: 遊ぶ場所が少ないですね。日本語を学ぶ「サークル」のようなものもないことです。例えば香港では、「MEET UP」という言語サークルがあって、日本語に興味がある人達がテーマ別に集まり、例えばスポーツや料理などを通して日本語で交流するのです。主催者は時間や場所を決め、ネットなどで伝えます。スターバックスなどに集まるので、飲み物代以外は無料で参加できます。大学に入ってから専門を英語に変えたので、周りに日本語を話す人が少なくなってしまう、こういったサークルで日本語を使い、練習していました。

Q: 一番得意なのは何語ですか。

A: 日本語です。そして英語と標準語ですが、その日の調子で変わります。英語は幼稚園から始まって、授業では大学までずっと英語でした。標準語は小学校6年間、一週間に45分の授業がありました。そのあと、就職に有利なように「高級文憑」(Higher Diploma)の時に塾に行って、二年間学びました。香港の若者も標準語は苦手な人が多いです。しかし就職に有利になるように、標準語の勉強を頑張らないといけないのです。

今は甲府駅北口、武田通りにある甲府学生クリスチャンセンターの交流会(カフェ)に週一回参加しています。国際交流センターの掲示板に貼ってあったものを香港人の友人が紹介してくれました。英語を使ってゲームをしたり、おしゃべりをして交流します。日本人の参加者はかなり英語がうまいです。

参加費は特に決まっておらず、自分の気持で飲み物や食べ物を持っていきます。食事が出ますが、食事の時のお祈りをする以外には宗教色はありません。副牧師はシンガポールの人です。独学だそうです。英語、広東語、標準語、日本語が話せます。

Q: 外国語を学ぶのには何かコツがありますか。

A: まず日本語を書きながら読みます。それから頭の中でいろいろ考えている事を日本語で言ってみます。自分ひとりで複数の人になりきって会話を練習します。(例 A今日は、天気がいいですね。Bそうですね、散歩に行きたいな。)  
なるべく、日本語を使って日本人と接し、交流が出来る環境を持てれば良いなと思っています。

Q: 我々が中国の漫才などを聞いても、中国人が笑っているところで笑えないことがあります。そんな時言葉の差、壁を感じるのですが、凌さんも日本語を学ぶ中で、似たような経験がありますか。

A: 香港で日本映画の「貞子」を見たのですが、広東語の字幕を見ていると、独特の訳し方がされ、ホラー映画になっていませんでした。  
香港で上映された「君の名は」を英語の字幕で見ましたが、日本語で「僕」、「俺」、「私」(わたし、わたくし)と使い分けていても、字幕はすべて「I」です。やはり日本語が十分に分かっていないと雰囲気やイメージが伝わりません。

Q: 翻訳と通訳を比べたらどちらが得意ですか。

A: やはり通訳のほうがです。人間を相手にしているほうが面白いと思います。



母語を外国語に訳すことは、大変ですが、日本語を北京語や広東語にするのも、決して簡単ではありません。結構大変です。

細かいところとか、話し言葉と書き言葉の違いとか、その他にもいろいろな方面の知識がないと出来ません。細かいところまで、正確に訳すということは容易ではありません。

**Q:** 素晴らしいですね。ところで、日本人との交流を通して、日本人の特有の性格、また香港との違いを感じますか。

**A:** 「建前と本音」というか、「表と裏」ですね。顔では愛想笑いをしていても、心の中では、本当は腹を立てていることがあると思います。

香港でもこういったことはあると思いますが、日本人ほど（顕著）ではありません。

香港では会社の上司と部下、同僚という関係でも、仲良くなって、「いい友達」になることが出来ます。日本に興味があつて勉強している香港人は、自分も含め、だんだんに日本人に近い考え方になっていくのではないかと思います。逆に関心がない人は、別な考え方を持っていると思います。

**Q:** 香港はイギリスの文化の影響を受けてきていますね。

**A:** イギリスの文化といっても具体的にどう言っているかわかりませんが、英語で教育を受けてきた影響は強いと思います。香港の広東語（話し言葉）の約50%は英語の影響を受けています。英語の能力に対しての要求が高く、英語が話せないと就職は難しいと思います。香港は競争が激しい能力主義の社会です。

**Q:** 障害を持った人にも厳しいということですか。

**A:** それはありません。障害者を守る法律があつて、障害者を雇用しないと罰せられます。

**Q:** 母語の広東語についてちょっとだけ教えて下さい。

**A:** 声調は9つあります。声調が4種類の標準語と比べると、多く、微妙に違います。声調の違いはとても細かいので、学校で学ぶ時には、先生の後について読みながら覚えます。文字は簡体字と繁体字の違いはありますが、文法は基本的に同じです。例えば「私は日本人です。」を標準語では「我是日本人」、広東語は「我係日本人」となります。

話し言葉と書き言葉は全然違います。英語の影響を受けているので、例えば「だらだらする」は「hea」と言ったりします。漢字はありません。また日本語の謙譲語の類もありません。

**Q:** ユニタス日本語学校の学生の日本語はどうですか。

**A:** 初級クラスの人ことはよくわかりませんが、中上級クラスの方は先生の言っていることは大体分かります。ただ、日本語能力試験一級に合格していても会話が出来ない人もいます。

中華圏出身の方は漢字がありますから、筆記テストは比較的簡単なのです。その分、会話のテストになると不合格者が増えるでしょう。

合格したほうが良いとは思いますが、一級に合格しても日本語が出来るという証明にはなりません。同時に会話の練習をやっていくことが大切です。

- Q: 12月末に帰国の予定だそうです、帰国してからはどういう仕事をしたいですか。
- A: 日本語教師か通訳です。教師のほうは難しいかもしれませんが。学生時代、ずっと宝石の卸会社の展示会で通訳をやっていた。そのほかにも食品関係のイベントで通訳をしたことがあります。食品関係の通訳は待遇がかなり良かったですね。  
フリーランスのほうが、例えば、一週間で30万円くらいの収入があったりして、会社員より格段に良いのですが、生活が安定しないという理由で家族や彼女からは反対されています。
- Q: 帰国後、日本語レベルの高さ、四種類の言語を使えること、人柄の良さなどで、教師なり、通訳なりの分野でご活躍されることを確信しています。今日はありがとうございました。
- A: いいえ、こういうインタビューのような機会は僕にとってもいい日本語の勉強になり感謝しています。

3月21日 日中交流情報センターにて

《これからの予定》

- 中国語でクッキング [ 6月10日、粽(ちまき)作り]

《事務局日誌》

- 相互学習 2/21 3/6 3/14 4/4,6
- 二胡教室 2/13 2/27 3/13,27, 4/10
- 紹介山梨 2/13, 2/27 3/6, 27 4/3,17
- 医療通訳研修会 2/18 3/4 4/15
- 定例会 3/13 4/10
- 生活相談その他 3/2,9,15
- 「英語と中国語で遊ぼう」 3/1,11,20 4/8

- 春節交流会 2月12日(中央公民館、参加者 着物体験12人 交流会46名)
- インタビュー 「凌睿昌さん」 3月21日(「日中交流情報センター」にて)
- 着物体験 甲府市健康の杜アネシス 3月26日(日)  
参加者 中国人研修者8名 着付けボランティア3名
- 信玄公まつり交流会 日中交流情報センター 4月8日(土) 参加者20名